

**研究課題名 実臨床データを用いた膵癌術後補助化学療法の至適投与期間に関する検討
(2020年度 日本膵臓学会プロジェクト研究)**

1. 研究の対象

本研究参加施設において2014年1月から2018年12月までの5年間に、外科的切除され、切除標本の病理組織診断にて通常型膵癌と診断され、S-1単独の術後補助療法を施行された症例を対象とする。

2. 研究目的・方法

現在実施されている膵癌症例におけるS-1による術後補助療法の至適な開始時期および投与期間は不明である。膵癌切除後の術後補助療法S-1術後補助療法の施行方法（開始時期および投与期間）と予後との関連性を明らかにすることを目的とする。本邦全国調査にて膵癌切除例のS-1術後補助療法の施行状況および予後情報を集め、最も良好な予後が得られているS-1術後補助療法の施行方法を同定する。多施設共同後ろ向き観察研究。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2024年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ内の病歴、血液検査結果、画像検査結果、手術所見、病理所見等を利用します。使用するデータは、個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。

4. 外部への試料・情報の提供

本研究は本学を主たる研究機関とした多施設共同研究であり、試料や情報は研究参加機関で電子的配信にて共有します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。

5. 研究組織

大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授 江口英利
新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科部長 野村達也

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科

当院研究責任者：野村達也

連絡先：新潟市中央区川岸町 2 丁目 15 番地 3

TEL：025-266-5111

研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授 江口英利

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2-E2